※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）書造形	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主教材						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

「書」を活用して様々な素材で制作し、「書」の楽しさを体感します。パソコンが普及している現代にあっても、個性のある生きた文字が生活用品に通じていることがわかると、親近感がわき充実した制作が叶います。表現豊かな手書き文字の技術力は、みなさんの人生を彩る宝となるでしょう。「書」を用いた造形制作によって、豊かな人間形成に役立てることをめざします。

2　学習の到達目標

観点	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
到達目標	・好きな言葉を木板やランプシェード、ガラス小物などの素材に書くことができる。 ・手作りの折り帖に小作品を表装し、バリエーション豊かな作品集をつくることができる。	好きな言葉を、字書を用いて様々な書体や書風で表現できるよう学習する。木材やガラス等の素材を扱うときには、特徴を理解し、用具・用材を正しく利用できるようにする。	刻字や立体制作を通じて、個性的な表現もできるようになることを目指し、創作的作品の制作、完成、発表を行なう。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・折り帖のしくみを理解して製本し、ページの大きさにあった書作品を制作することができる。清書用紙を鮮やかに染め、それに合った雰囲気の書作品を制作することができる。 ・裏打ちや化粧断ち等の技術を習得し、自らの書作品を美しく表装することができる。 ・木材やランプシェード、ガラスなどの立体素材を用い、表現豊かに制作することができる。	・書造形作品を見て、身の回りでいろいろ使用されていることを知り、実社会で応用できるようにする。 ・折り帖づくりを通して、製本の仕方や、ページの大きさに合った、いろいろな書体の書作品づくりに取り組めるようにする。 ・立体素材の特徴を理解し、表現豊かな書作品づくりに取り組むことができる。	・課題作品にふさわしい書体や技法で作品を仕上げようとする姿勢がある。 ・作品に対する教員の指導に対して積極的に改善しようとする姿勢が見られる。 ・制作意欲や積極的に質問する姿勢が見られる。 ・振り返りシートに授業で頑張ったところやうまくできなかったことを記入させる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	折り帖制作	・篆書体の書き方の学習 ・篆刻の材料や道具についての学習 ・篆刻の仕方についての学習	a:布字がきちんとできている。 b:印刀が正しく使用できる。 c:文字が深くきちんと彫れている。	観察 レポート ワークシート	提出作品	ポートフォリオ 提出作品
	表札制作	・木彫（表札）の書き方の学習 ・木彫の材料や道具についての学習 ・木彫の制作方法についての学習	a:筆を使って布字がきちんとできている。 b:彫刻刀やノミが正しく使用できる。 c:文字が深くきちんと彫れている。	観察 レポート ワークシート	提出作品	ポートフォリオ 提出作品
後期	文化祭発表作品の制作	・ランプシェードの背景用紙を彩り豊かに染める。 ・好きな詩を書風や構成を意識して書き、ランプシェードとして仕上げる。	a:ランプシェードの背景用紙を、制作意図にもとづいて染色することができている。 b:好きな詩を、書風や構成を工夫して書くことができている。書作品をランプシェードとして仕上げることができている。 c:意欲的に作品制作に取り組んでいる。	観察 レポート ワークシート	提出作品	ポートフォリオ 提出作品
	各種作品の制作	・ガラス小物に好きな言葉を書く。 ・作品制作に向けて、いろいろな書体を学習する。	a:書体をきちんと書き分けることできている。 b:ガラス小物の素材の特徴や、用具・用材を理解して制作することができている。。 c:意欲的に作品制作に取り組んでいる。	観察 取組状況	提出作品	提出作品 ポートフォリオ
	年賀状制作	年賀状の書き方を学習する	a:日本の伝統でもある手書きの年賀状の書き方を理解して、取り組んでいる。 b:上司や親せき友人など送る相手によって表現が一様ではないことを理解しようとしている。	観察 レポート ワークシート	提出作品	提出作品 ポートフォリオ

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度